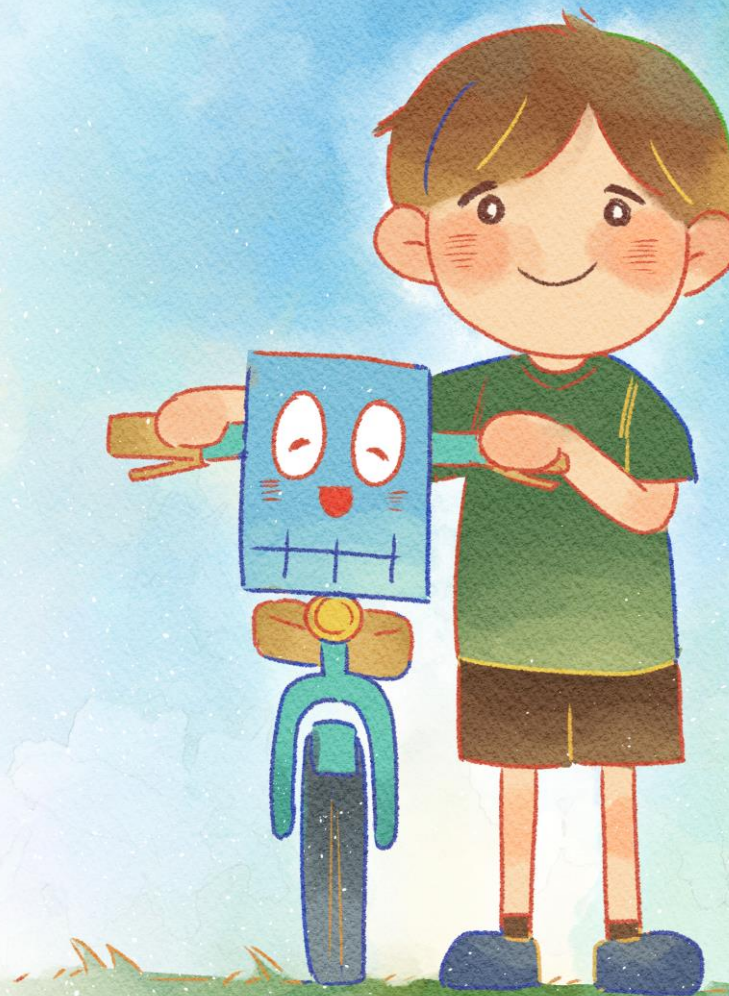


たいせつな ともだち

えはやし なな



ぼくは キーぼう。
6さいの おとこのこだ。

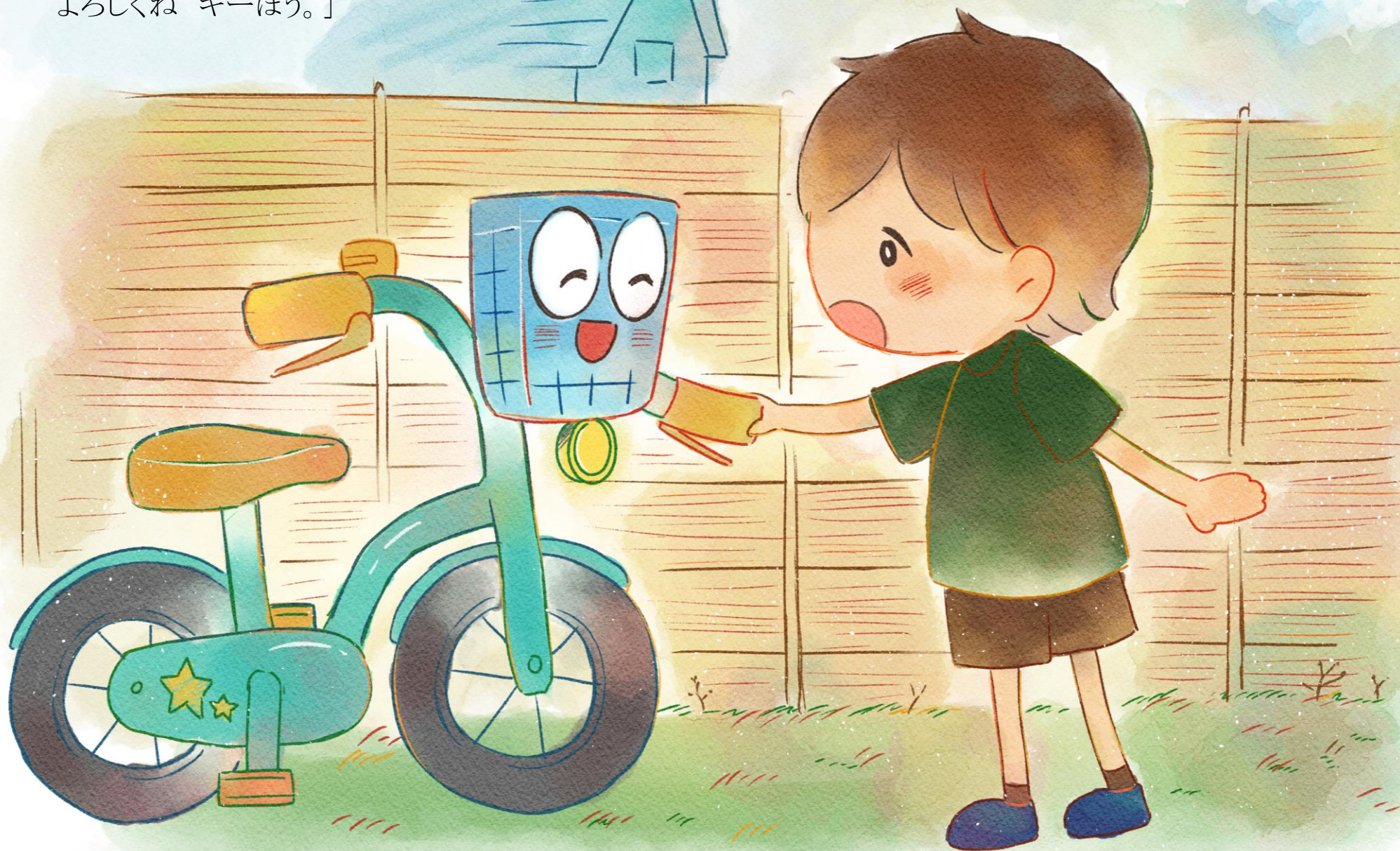


ぼくには だいじな ともだち がいる。
パパと ママに かってもらった
じてんしゃの リンリンだ。

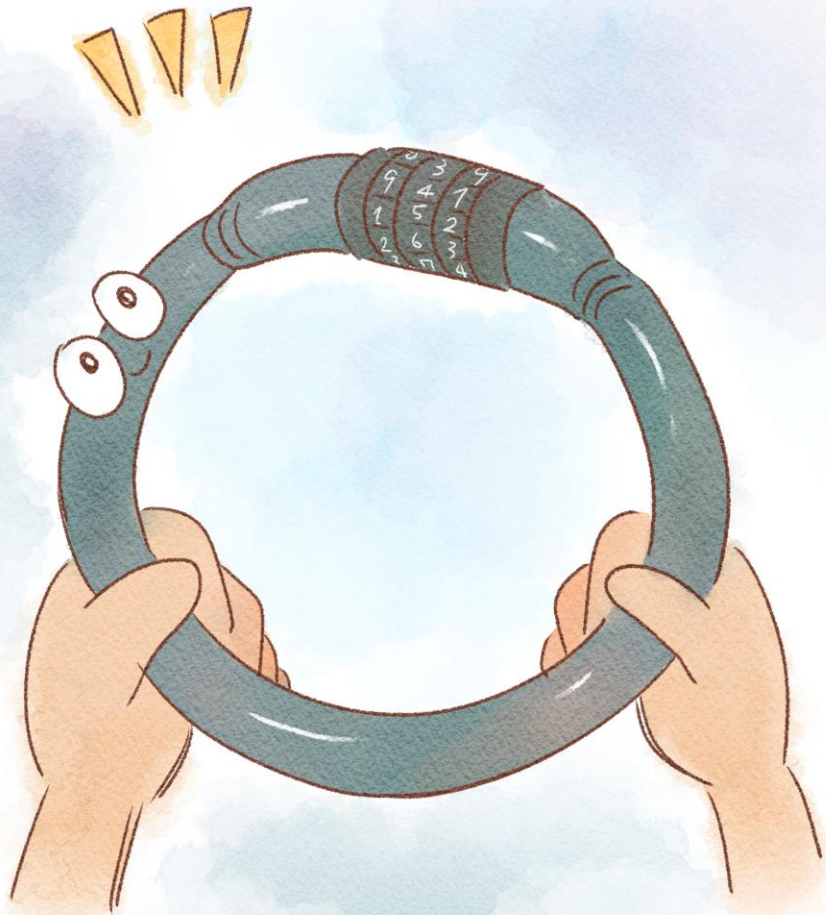


リンリンと はじめて あったとき
リンリンが ぼくに はなしかけてきた。

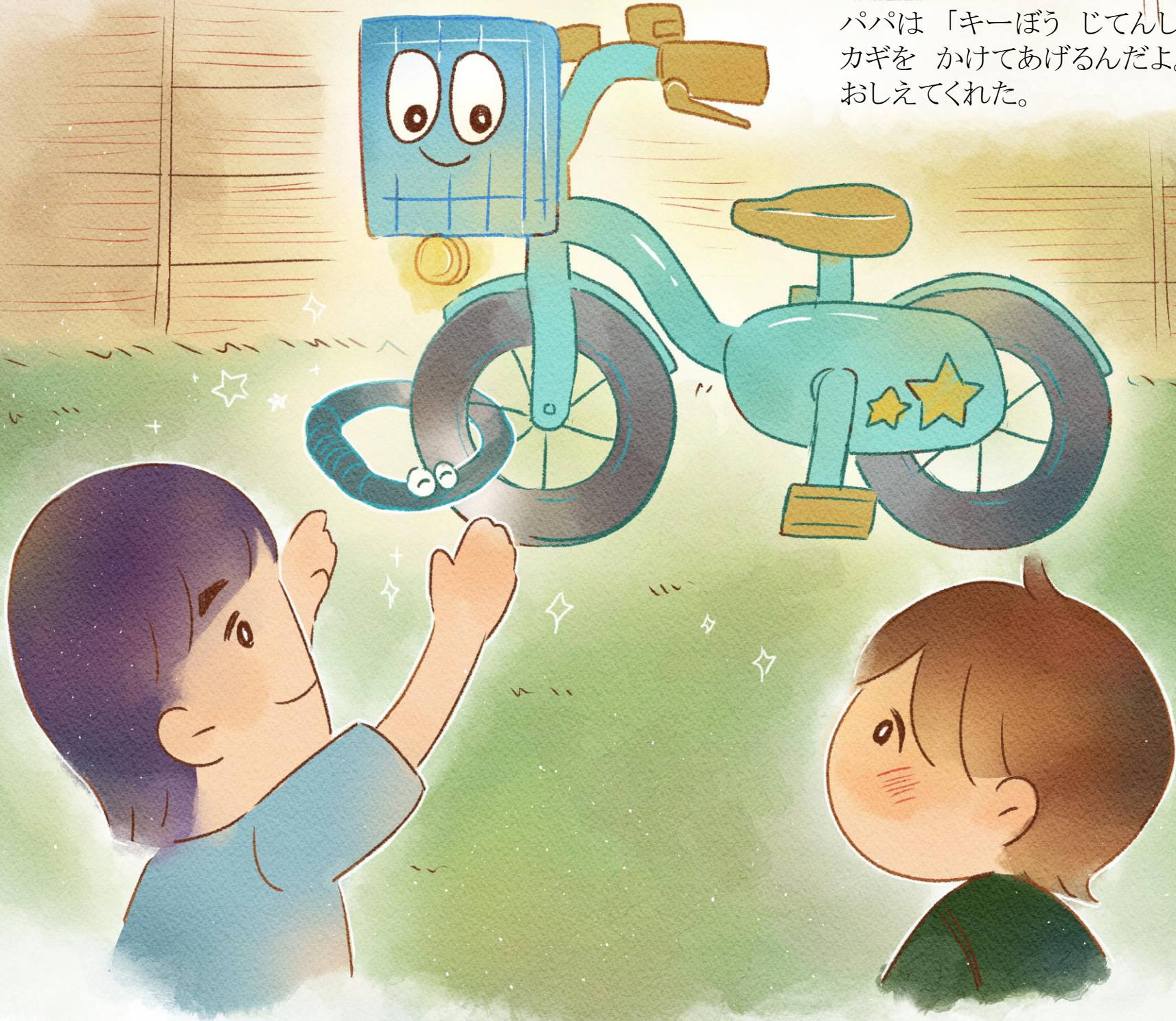
「ぼくは リンリン。
よろしくね キーぼう。」



リンリンを かってもらったとき
ぼくは パパと ママから
リンリンに かけるカギも
かってもらった。



パパは「キーぼう じてんしゃには
カギを かけてあげるんだよ。」と
おしえてくれた。



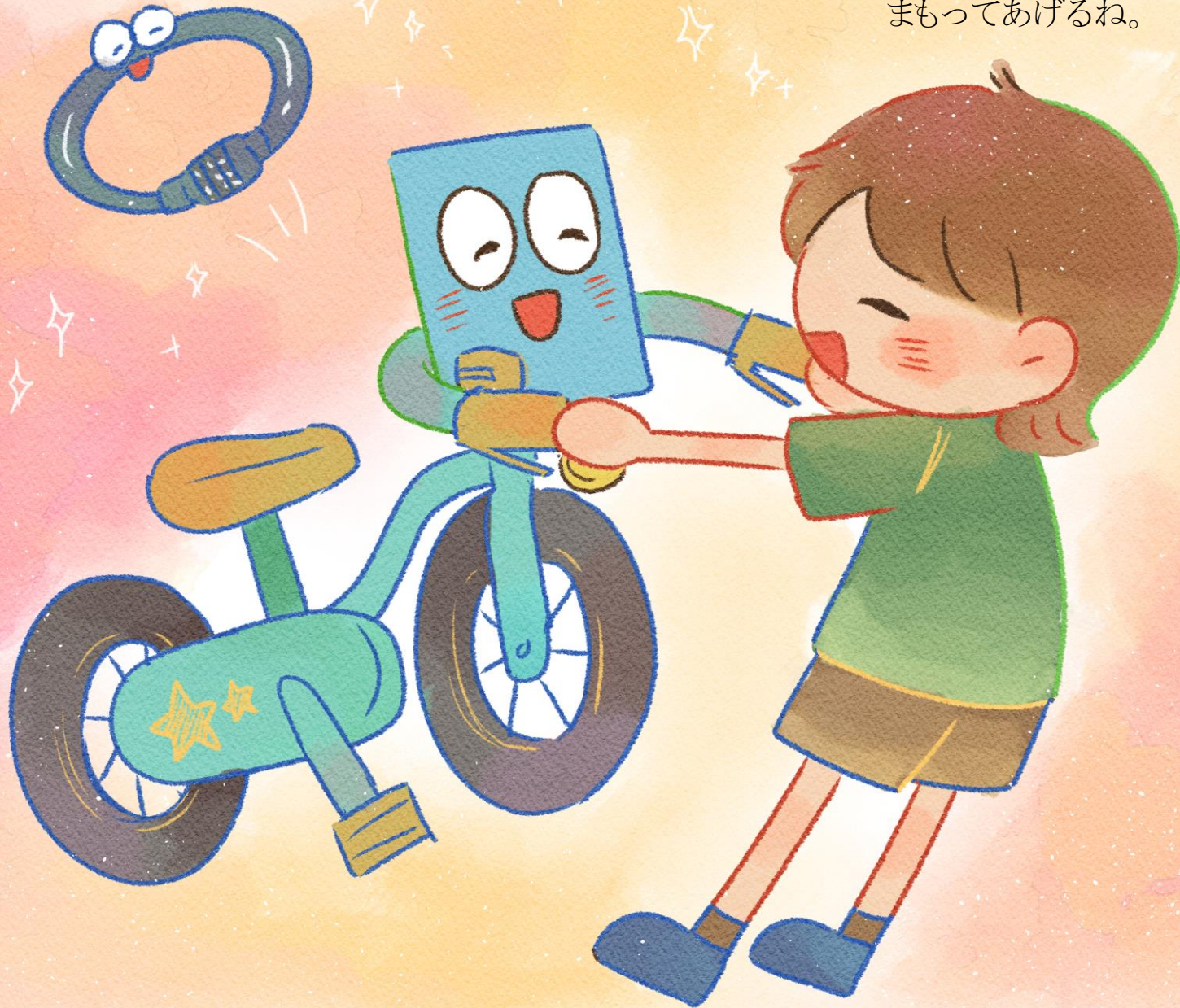
ぼくは「なんで カギをかけるの？」ときいた。



すると ママが「リンリンと ずっと いっしょに
いるためよ。リンリンが まいごになったり
しないように カギをかけて まもってあげてね。」
といた。

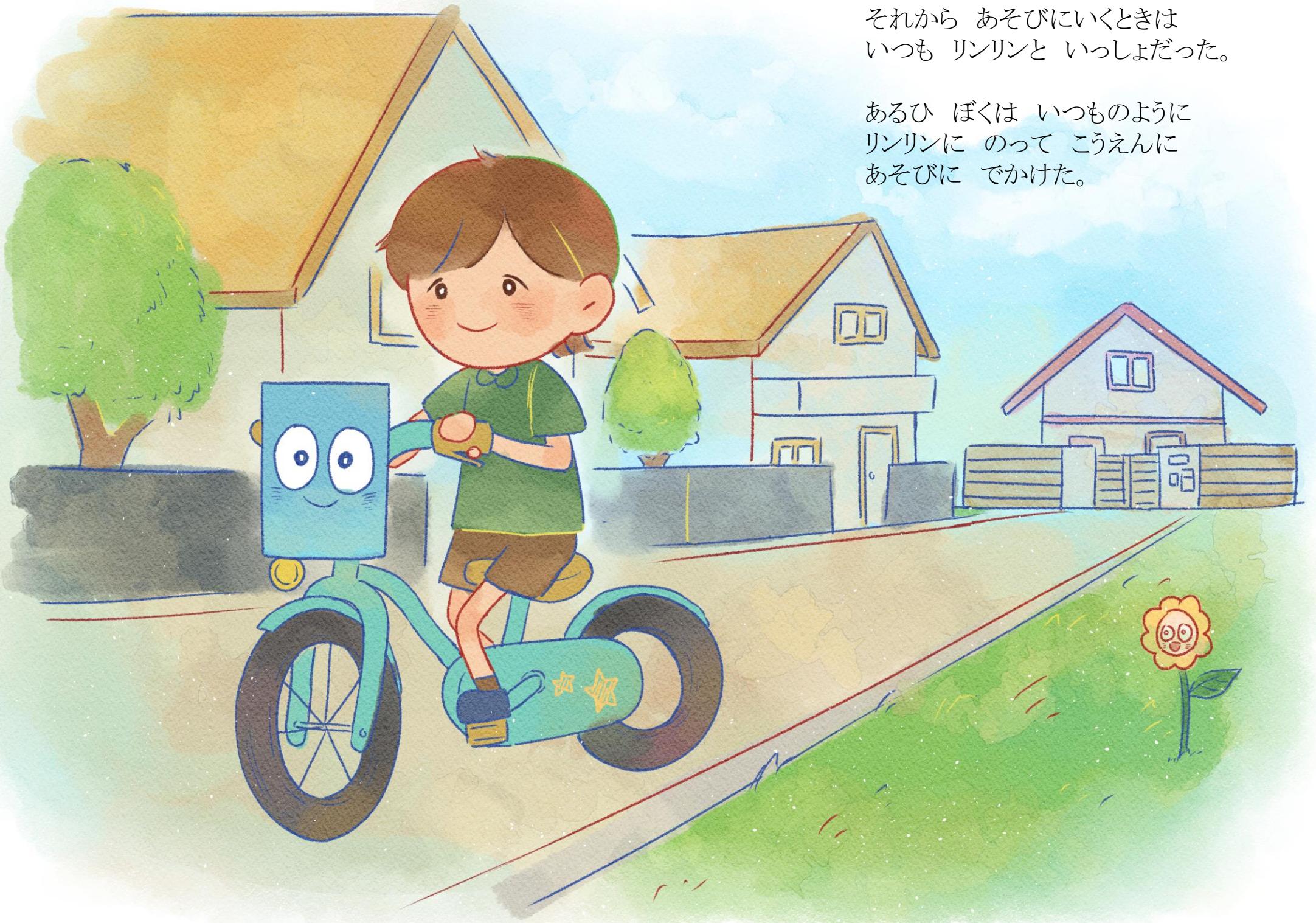


ぼくは うれしかった。
リンリンずっと いっしょだよ。
ぼくが カギを かけて リンリンを
まもってあげるね。



それから あそびに行くときは
いつも リンリンと いっしょだった。

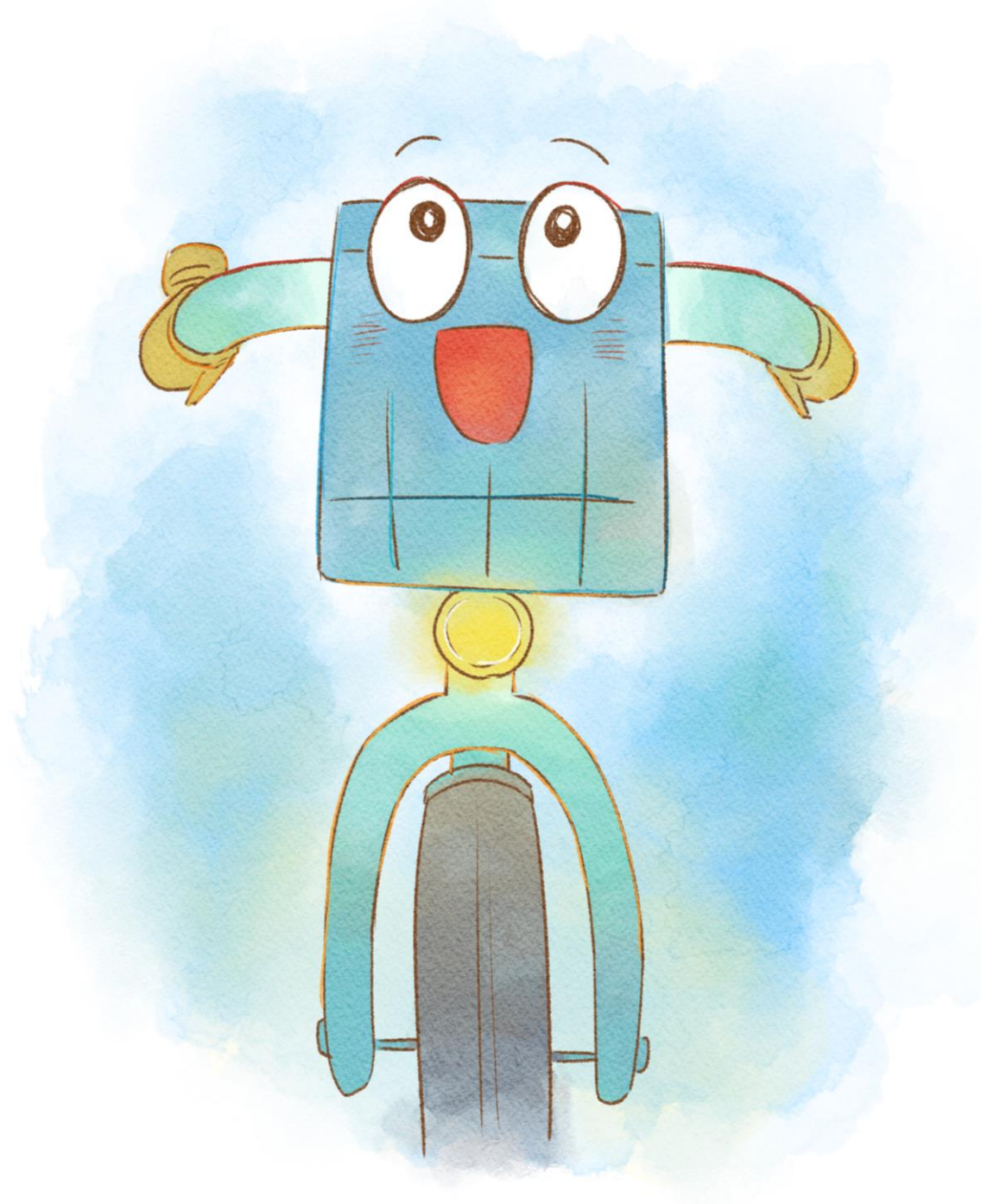
あるひ ぼくは いつものように
リンリンに のって こうえんに
あそびに でかけた。



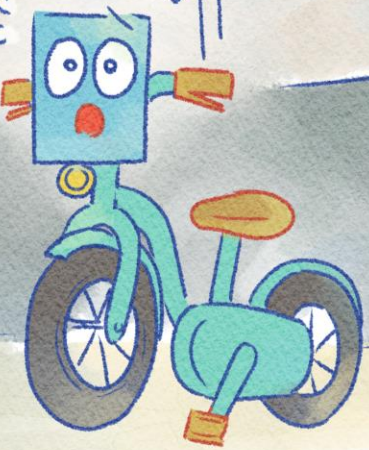
リンリンから おりたとき
リンリンが ぼくに はなしかけてきた。



「キーぼう。ぼくに カギを
かけて ほしいんだ。」



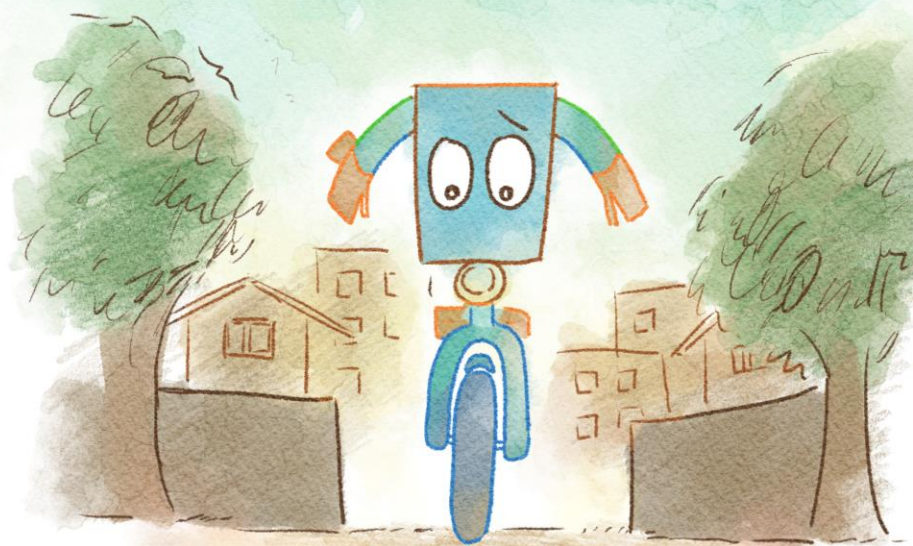
でも ぼくは はやく こうえんで
あそびたくて カギを かけなかった...



こうえんに むかうとき ふと
リンリンを みた。



リンリンが
しょんぼりしているように みえた。





あそびおわって リンリンのもとに
かえると そこにリンリンは いなかった。



「リンリン！」
「リンリン！」

いくらよんでも
リンリンはでてこない。



リンリンが まいごに なっちやった・・・
パパとママのいうとおり ちゃんと
カギをしてあげればよかった・・・
ぼくが まもってあげるって リンリンと
やくそくしたのに・・・

ぼくは かなしくて いっぱい ないた。

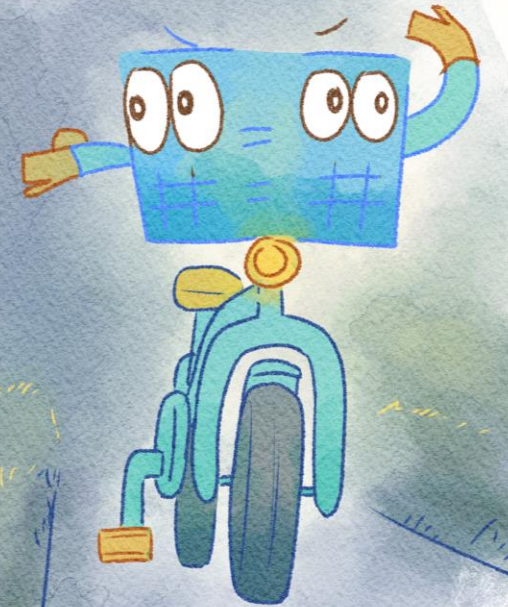




そのあとも ぼくはリンリンを
いっしょうけんめい さがした。

でも・・・
リンリンは みつからなかった・・・

リンリンは どうしているだろう？
ぼくを さがしているのかな？
こわくて ないていないかな？
リンリン どこにいるの？



げんきのない ぼくを みて ママが
「あたらしい じてんしゃ
かってあげようか？」と いてくれた。



「ありがとう ママ。でも いないよ。
だって ぼくの たいせつな
『ともだち』は リンリンだけだから。」

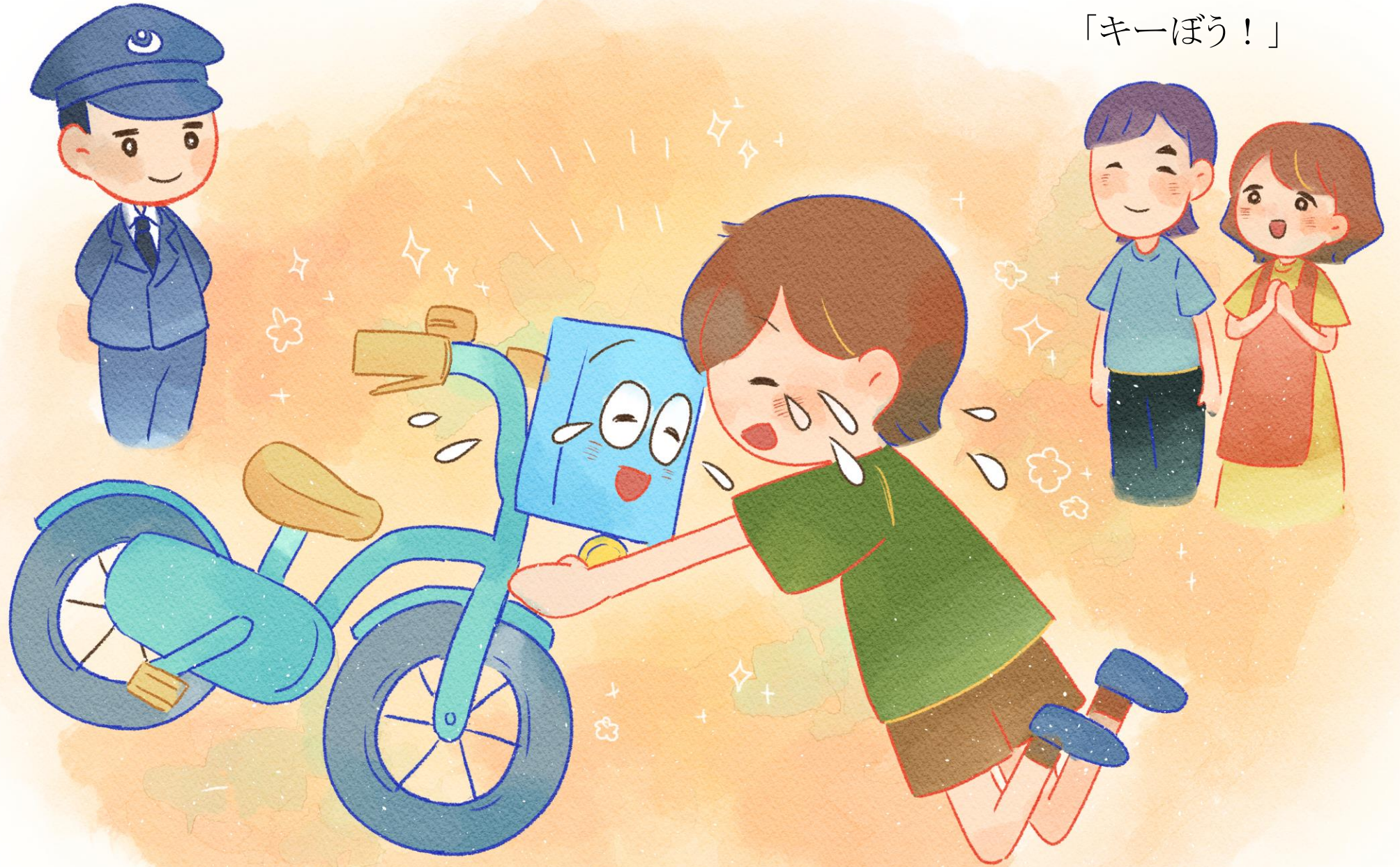


リンリンが いなくなってから
なんにちか たった あるひ
リンリンが べつの こうえんで
みつかったと れんらくがあった。



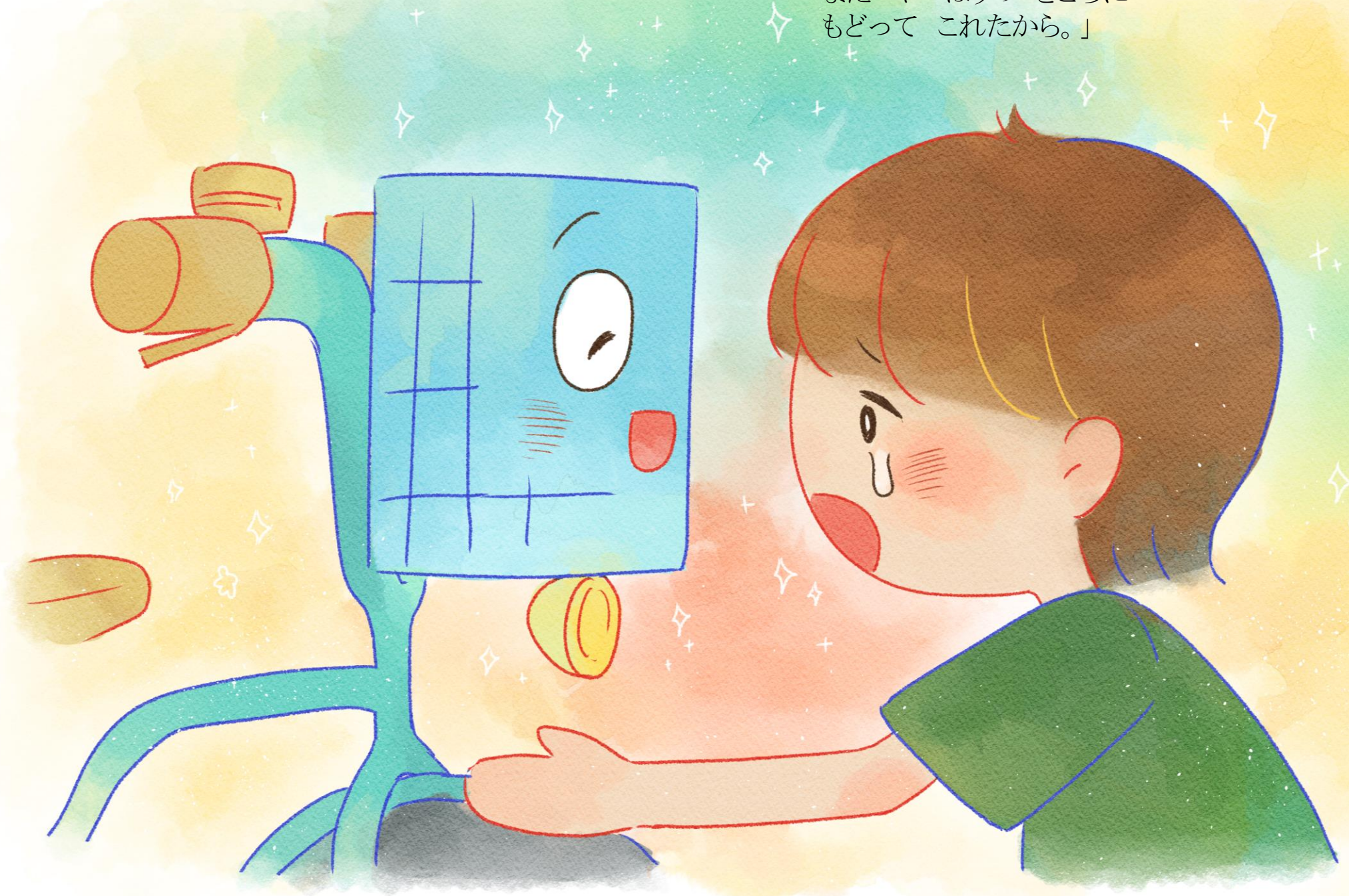
「リンリーン！」

「キーぼう！」



「こわい おもいを させて ごめんよ！
ぼくが リンリンの いうことを きいて
ちゃんと カギを かけて あげていたら・・・」

「いいんだ キーぼう。
ぼくの きもちを かんがえて くれて ありがとう。
それに ぼくは うれしいんだ。
また キーぼうの ところに
もどって これたから。」



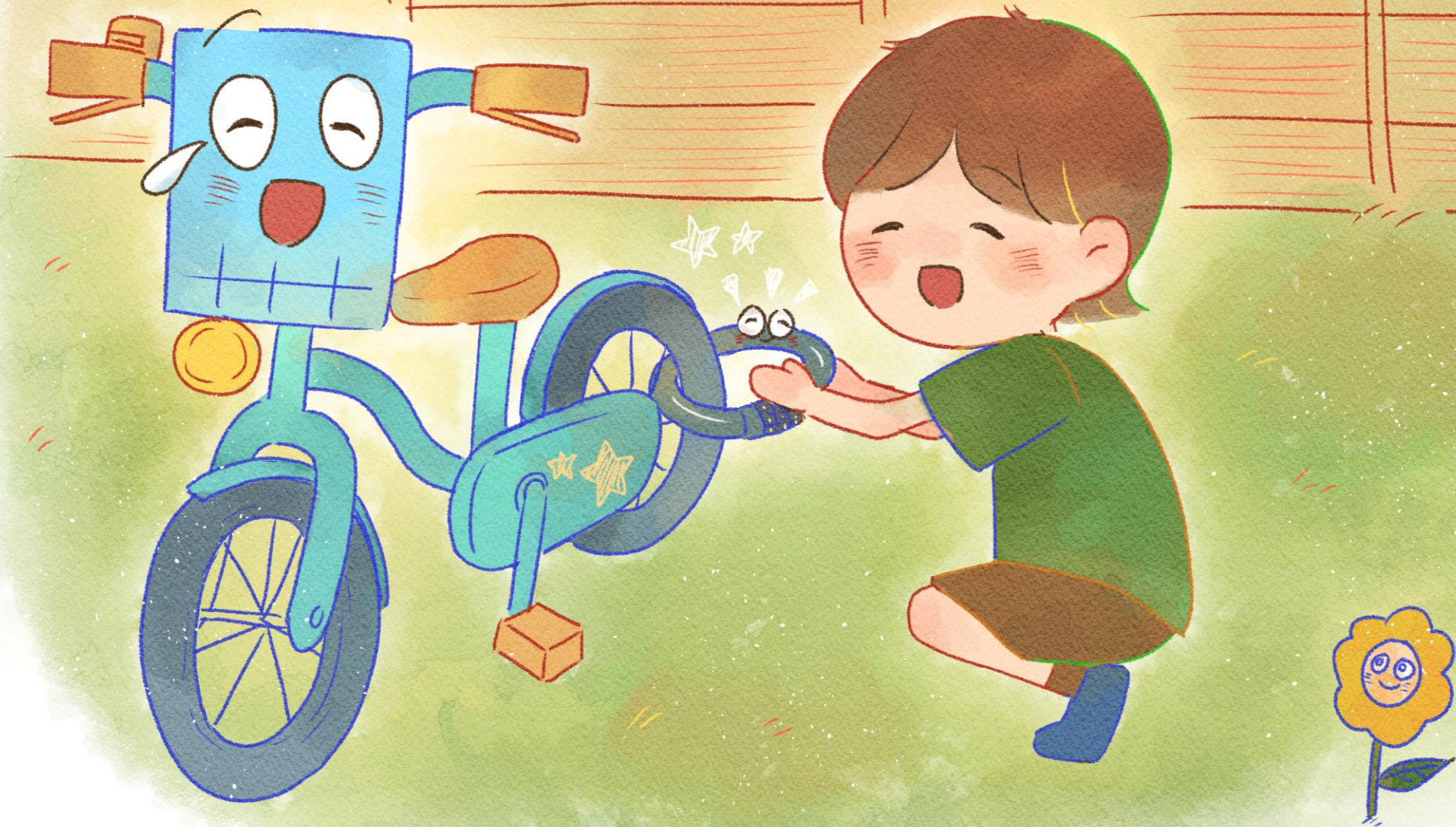
「リンリン これからも ぼくと
ともだちで いてくれる？」

「もちろんだよ。キーぼう。
ぼくは ずっと キーぼうの ともだちだよ。」



「ありがとう リンリン！
これからは ちゃんと カギをかけて
ぼくが きみを まもるから！
やくそくするよ！」

「ありがとう キーぼう！」



保護者の皆様へ

この絵本は、自転車への鍵かけを通して、施錠することの重要性をお子様にお伝えすることを目的に制作しました。

鍵をかけるという行為は、自転車に限らず防犯の基本となります。

絵本をお読みいただき、鍵かけの大切さを感じていただけましたら幸いです。

絵 学生防犯ボランティア
「ロックモンキーズ」 林 奈那

制作 京都府警察本部
生活安全企画課
犯罪抑止対策室



絵 学生防犯ボランティア
「ロックモンキーズ」 林 奈那